

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2183
部 名	企画部	課 名	パートナーシップ推進課	課長名	川野佐一郎
事務事業名	さがみはら市民活動サポートセンター管理運営事業				
予算上の事務事業名	さがみはら市民活動サポートセンター経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第2節 ボランティア活動の促進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 ボランティア活動の支援				平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	さがみはら市民活動サポートセンターの設置等に関する規程				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	施設運営 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>社会福祉や環境保全など、様々な分野で行われている市民の自主的・非営利の社会に貢献する活動を支援し、活動の活性化を促進する。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>市民</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>市民活動を市民が支える施設として、公募による審査を経て選ばれた特定非営利活動法人がセンターの管理運営を行い、市民活動に関する情報の提供、会議室や交流サロンなど活動場所の提供、市民活動に関する相談の対応、市民活動講座(3/11)やさぼせんフェスタ'04(11/7)を実施した。</p> <p>【利用状況】交流サロン 7,929人(1日あたり約22人)            会議室 6,584人(1日あたり約18人)            利用者合計 14,513人(1日あたり約40人)            相談・問い合わせ件数 99件(月平均8件)            利用登録団体(サポートセンターに登録されている団体 平成17年3月現在)171団体</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	<p>県内では、11市が市民活動を支援するためのセンターを設置している。            (市民活動団体に委託している施設：7市 市直営施設：4市)</p>				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	4,170	8,799	9,816	11,006	11,006
一般財源	4,170	8,799	9,816	11,006	11,006
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,356	4,806	4,842	4,842	4,842
事業コスト合計(a)	7,526	13,605	14,658	15,848	15,848
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	さがみはら市民活動サポートセンター管理運営事業		対象名称(単位)	開館日数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	4,170	8,799	9,816	11,006	11,006
対象数	156	360	359	359	359
単位あたり経費(円)	26,731	24,442	27,343	30,657	30,657
前年度比		0.91	1.12	1.12	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	開館日数（日）	指標式と指 標の説明	開館日数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	156.0	360.0	359.0		
目標	156.0	360.0	359.0	359.0	359.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	利用者数（人）	指標式と指 標の説明	利用者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	3254.0	14247.0	14513.0		
目標	3000.0	10000.0	13000.0	14000.0	15000.0
目標達成度	108.5	142.5	111.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	{	良好な状態を維持する事業			
	{	概ね良好な状況である事業			
	{	見直しを行う必要がある事業			
	{	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		開始してから3年の実績はあり、当初の目的である市民活動は育っている。以下のような課題もあり、方向性を定める時期であるので委託事業の検討から始めたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 市民活動の支援をさらに進めるため、スタッフの質の向上を図ると共に、ニーズに的確に応えたサービス提供を行う。			14 課題として認識されたこと 市民活動の成熟に伴い、市民が市民を支援する中間支援組織の増加や市民の自立を期待することができ、センターのあり方についても、検討が必要となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			